

礼拝プログラム

2018年3月18日

司会: 西井兄 奏楽: 石塚姉 通訳: 石塚兄

前奏: Prelude

賛美: Hymn

使徒信条: * Apostle's Creed

アナウンスメント: Announcement

牧会祈祷: Pastoral Prayer

感謝献金: Offering

メッセージ: Sermon

「神のはたらかれるスペースを確保する」

"Making Room for God to Work"

賛美: Hymn

頌栄: Doxology

祝祷: * Benediction

アッシャー: ディッチ姉、テリクス姉

グリーター: 福島姉、スタンクリフ姉

ナーサリー: プロクター姉、ストーン姉

チルドレンチャーチ: 町田姉、川久姉

セキュリティ: 福島兄

*印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のままで結構です。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。
Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

来週、25日の礼拝

司会: 福島兄 奏楽: ヴォウト姉 通訳: 石塚兄

メッセージ: 「裏切られた同じ夜」

賛美: LP237、新聖歌112

アッシャー: ディッチ姉、テリクス姉

グリーター: 福島姉、スタンクリフ姉

ナーサリー: スタンクリフ姉、石井姉

チルドレンチャーチ: プロクター姉、奏姉

セキュリティ: 町田兄

お知らせ

本日の礼拝後の予定

コーヒー、男子会、婦人会

大人・子供フラ練習、PAトレーニング

■本日の礼拝によろこそいっていました。教会について、集会、信仰、キリスト教等について、ご質問がある方はお気軽に牧師までおたずねください。

■本日、正午から会堂でサウンドボード操作のトレーニング会をもちます。バックアップも含めて常時、数人がスタンバイできたらと願っております。

■今週土曜日、午前8時より毎年恒例の教会大掃除がもたれます。主の宮を皆できれいに掃除し、受難週、イースターに備えましょう。当日は大きなごみ箱が設置されますのでご家庭で不要となりましたものがありましたらお持ちください。ただし、ペンキ、化学薬品、電池、テレビ、コンピューター、マイクロウエイブ、洗濯機、乾燥機、冷蔵庫、セルホン等は廃棄できませんのでご注意ください。

■来週日曜日、聖餐式を予定しております。受難週を前に主の十字架の前に出ましょう。

■来週日曜日、午後12時30分より、Golden Hill Park (5296 Golden Hill Drive, San Diego CA 92102) にてイースターピクニックを予定しております。ご家族、御友人をお誘いください。またこのために助け人、ドネーションを礼拝堂玄関の掲示板にて募っています。ご協力をよろしくお願いします。

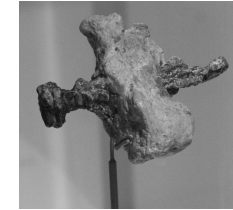
■3月30日(金)、午後七時からグッドフライデーがもたれ、七名の方達がイエス様の十字架の七つの言葉をシェアしていただきます。

今週の予定

21日(水)	水曜集会	7:30pm
22日(木)	木曜集会	10:30am
24日(土)	教会大掃除	8:00am
25日(日)	聖餐式	
	イースターピクニック	

サ客不恵

『そして、イエスをゴルゴダ、その意味は、されこうべ、という所に連れて行った』(マルコ15章22節)



1970年代にイエホハナン(Yehohanan)という男の名前が刻まれた骨壺がエルサレムで発見され、それは約2000年前のものであることが分かりました。その骨壺には彼の骨が収められており、その中には釘が突きささった彼の足の骨がありました。

当時、エルサレムを治めていましたローマ帝国は犯罪を犯した者やローマに謀反を起こした者たちを十字架刑に処していました。紀元前71年のスパルタの反乱の時には約6000人もの人たちが十字架にはりつけにされたと言われています。おそらくこのイエホハナンも何かしらの謀反を起こして十字架刑を受けたのでありましょう。

十字架刑になる人間は当時の犯罪者ですから、その遺体はぞんざいに扱われました。釘が刺さったまま捨て置かれていた遺体もそうとうにあったようです。そのような中でこのイエホハナンはそれなりの家柄の人だったのでしょいか、その遺体が骨壺に収められました。この骨に突き刺さった釘は現在、イスラエル博物館に展示されています。

このように当時、エルサレムにおいてローマ帝国主導による十字架刑が執り行われていたことは疑いのないことで、その刑を受けた者たちの中にイエス・キリストがおりました。イエス・キリストが十字架にかけられた場所は「されこうべ」と呼ばれていた場所であったと聖書は記録しています。されこうべとはアラム語ではゴルゴダ、ラテン語ではカルバリと言い、私達も今日、そのようにこの場所を呼んでいます。

『その打たれた傷によって、われわれは癒されたのだ』(イザヤ53章5節)